

## 日遊協新年祝賀会に270人

### 「ラストチャンスと思つて」

### 庄司会長、V字回復へ「檄」

団体加盟している同友会の松田高志代表理事（日遊協特別参与）が乾杯の発声をして祝賀会が始まり、随所に

日遊協新年祝賀会が1月9日午後6時、第5回定例理事会に引き

続いてグラントアーク半蔵門で開かれた。会員企業、賛助会員企業の役員、社員、さらに業界誌関係者など約270人でにぎわった。

庄司孝輝会長は冒頭、「去年、お伊勢さんは式年遷宮で、20年に1回の社殿の造り替えが行われた。企業も同じで、20年はもたないも

のだ。この業界は本来であれば10年前にいろいろなことをやって、また輝かせるようにしていなければならなかった。今年がラストチャンスだと思つて、4月の『パチンコ&パチスロフェスタ』を契機にファンの拡大を図り、産業を再生させていき、2020年に東京五輪・パラリンピックが来たときにはこの業界もV字回復して、皆様と改めて杯を交わせたと思う。ぜひご協力をお願いします」と挨拶した。

懇談の輪ができた。最後に大久保正博副会長が中締めを行った。



懇親会が始まり、まずは記念撮影。左から京楽産業、矢部伸一郎取締役、庄司孝輝会長、大久保正博副会長、松田高志特別参与（同友会代表理事）、深谷友尋相談役



相変わらず元気いっぱいの石橋保彦相談役（左）。（右へ）阿部恭久相談役（都遊協理事長）、樋口益次郎理事



千歳観光 若松千容子代表取締役会長と談笑する西村拓郎理事



松谷明良北海道支部長と話をする山田久雄副会長（右）



会員やお客様で賑わう会場



大泉政治メダル工業会理事長（左）と韓裕副会長

## 気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ

パチンコ・パチスロ産業21世紀会は、ファン拡大のため、以下の活動を一丸となって行う。

- ①ファンの多様なニーズに応えられる遊技機の開発を推進する。
  - ②ファンが気軽に遊べるホール環境を構築する。
  - ③新たなファンを創出するためのPR活動を実施する。
- 以上、宣言する。

# 21世紀会「宣言2014」を発表

## 「気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ」

パチンコ・パチスロ産業21世紀会は1月28日、新橋の第一ホテル東京で構成14団体の代表ら57人が出席して産業界の現状分析を行い、今後の業界の在り方を確認し、かねてから準備していた「パチンコ・パチスロ産業21世紀会宣言2014」(別掲)を採択し、同日開かれた賀詞交歓会で発表した。

新「宣言」は「気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ」を

スローガンに、①遊技機の開発、②ホール環境の構築、③PR活動の実施を3本の柱としている。今後具体的な内容と進め方を検討するため「遊技産業活性化プロジェクトチーム」(仮称)を発足させることを決め、年度始めにプロジェクトに関する記者会見を開くことを確認した。

現在、遊技人口は20年前の3分の1に減少し、売上減少に伴うホールをはじめとする関連企業の経営悪化は看過できないものがあり、

### 14団体結集 なごやかに賀詞交歓会

#### 「ファンの裾野広げたい」庄司会長

#### 青松理事長「20年先を考えて行動」

パチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する14団体は1月28日、東京・新橋の第一ホテル東京で「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」を開いた。出席したのは14

消費税増税、国民の可処分所得の減少など周囲の環境も悪化している。このような情勢のなかで、今回の「宣言」は、新しいお客様を獲得し休眠層を復活させるために、ホールとメーカーが協力して初心者でも気楽に遊べるバラエティに富んだ遊技機の開発と設置を強力に推進する決意を表したものだ。併せて、ややもするといわれなきパッシングが起こることに対して、広範なPR活動を展開していくことも柱の一つとした。

団体の役員・幹部をはじめ、来賓の警察庁及び一般社団法人遊技産業健全化推進機構など3団体の関係者、さらに報道関係者を含めて会場は約470人でにぎわった。



「宣言」を採択した21世紀会で挨拶する青松全日遊連理事長(右端)

業界団体合同の賀詞交歓会は08年から行われ、今回が7回目。

冒頭、14団体の代表者が壇上に並び、代表して青松英和全日遊連理事長、金沢全求日工組理事長、里見治日電協理事長の3氏が挨拶した。青松氏は、「5年10年あるいは20年先の業界を考え、この業界を担う若い世代の人たちを考えて、行動していかねばならない」と訴えた。

金沢氏は、「日工組は、ホールに貢献できてセキュリティに強い機械、例えばECO遊技機など、気軽に安心して遊べる機械を開発



壇上に勢揃いした業界14団体のトップたち。左から、PSA・小堀豊理事長、認証協・広瀬清代表理事、PCSA・金本朝樹代表理事、余暇進・笠井總夫代表理事、同友会・松田高志代表理事、メダル工業会・大泉政治理事長、補給組合・梁川誠市理事長、自工会・古宮重雄理事長、回胴遊商・伊豆正則理事長、全商協・中村昌勇会長、日電協・里見治理事長、日工組・金沢全求理事長、日遊協・庄司孝輝会長、全日遊連・青松英和理事長

「過去に射幸性が低い機械をつくつたが、残念ながらホールに買っただけでなかった。面白さに欠けたのだと思う。今年はファンがこれ以上減らないように、メーカーも何とか努力をしていきたい」と述べた。

**楠保安課長**

この後、来賓の警察庁、楠芳伸保安課長が、昨年の業界について射幸性を抑えた遊技機の開発、社会貢献活動への尽力等を評価する一方、「不正改造事案、賞品の買い取り事案、広告宣伝規制の違反等が引き続き見られる。違法行為に対しては厳しく対応せざるをえない」と苦言を呈した。

最後に、庄司孝輝日遊協会長が「狭まっているファンの裾野をもう一度広げていきたい。850万人といわれるスリープユーザーをもう一度掘り起こしたい。また、ネガティブイメージが強まっているから、社会貢献や依存問題などについての業界の取組みを、堂々と社会にPRしていきたい」と述べ、乾杯の発声をした。

「違法には厳しく」

その後、来賓の警察庁、楠芳伸保安課長が、昨年の業界について射幸性を抑えた遊技機の開発、社会貢献活動への尽力等を評価する一方、「不正改造事案、賞品の買い取り事案、広告宣伝規制の違反等が引き続き見られる。違法行為に対しては厳しく対応せざるをえない」と苦言を呈した。

最後に、庄司孝輝日遊協会長が「狭まっているファンの裾野をもう一度広げていきたい。850万人といわれるスリープユーザーをもう一度掘り起こしたい。また、ネガティブイメージが強まっているから、社会貢献や依存問題などについての業界の取組みを、堂々と社会にPRしていきたい」と述べ、乾杯の発声をした。

「過去に射幸性が低い機械をつくつたが、残念ながらホールに買っただけでなかった。面白さに欠けたのだと思う。今年はファンがこれ以上減らないように、メーカーも何とか努力をしていきたい」と述べた。

**楠保安課長**

この後、来賓の警察庁、楠芳伸保安課長が、昨年の業界について射幸性を抑えた遊技機の開発、社会貢献活動への尽力等を評価する一方、「不正改造事案、賞品の買い取り事案、広告宣伝規制の違反等が引き続き見られる。違法行為に対しては厳しく対応せざるをえない」と苦言を呈した。

最後に、庄司孝輝日遊協会長が「狭まっているファンの裾野をもう一度広げていきたい。850万人といわれるスリープユーザーをもう一度掘り起こしたい。また、ネガティブイメージが強まっているから、社会貢献や依存問題などについての業界の取組みを、堂々と社会にPRしていきたい」と述べ、乾杯の発声をした。



日遊協・深谷友尋相談役(左)と話す警察庁・楠芳伸保安課長



日遊協・石橋保彦相談役(左)と新年のあいさつをする日遊協・庄司孝輝会長(中央は日遊協・庄司正英相談役)

その他の来賓は次の通り。

警察庁保安課課長補佐、大門雅弘氏▽一般社団法人遊技産業健全化推進機構専務理事、伏見勝氏▽一般財団法人保安通信協会常務理事、柳澤吳氏▽特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク代表理事、西村直之氏。

## 21世紀会構成団体

- 全日本遊技事業協同組合連合会
- 社団法人日本遊技関連事業協会
- 日本遊技機工業組合
- 日本電動式遊技機工業協同組合
- 全国遊技機商業協同組合連合会
- 回胴式遊技機商業協同組合
- 遊技場自動サービス機工業会
- 遊技場自動補給装置工業組合
- 遊技場メダル自動補給装置工業会
- 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会
- 一般社団法人余暇環境整備推進協議会
- 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会
- 一般社団法人プライベートシステム協会
- 一般社団法人電子認証システム協議会



健全化推進機構・伏見勝専務理事(左)と談笑する警察庁保安課・大門雅弘課長補佐



RSN・西村直之代表理事(左)と全日遊連・青松英和理事長

# 第5回定例理事会

1月9日  
グランドアーク半蔵門  
出席理事・監事・特別参与30人

## 協議進めながら詰めへ

### ECCO遊技機、進行大筋を確認

日工組とユニットメーカーとで進められているECCO遊技機開発の状況が、昨年12月に行われたホ

ール関係5団体への説明会の内容をもとに改めて報告された。日工組側が説明した大筋は、①ECCO

についての費用は通常のセンターの開発・運営費程度、人員規模は2名程度を想定 ⑧想定コストは

多忙なホール管理者の業務軽減のため、日遊協と全日遊連が行っている点検補助員制度新設の途中

えながら詰めていく時期に来たと判断、今後は各団体と協議を進めながら調和点を見出す作業を並行してやっていくことを確認した。

**講習を受けた2名以内  
「点検補助員制度」で報告**



遊技機の枠寸法が共通になるため、現行のCR機の枠寸法もECCO機の寸法に合わせて設計されていく ②パチンコ・パチスロのECCOユニットの統一については今後日電協と協議して行く ③ECCOユニットは検定規則の対象にならない ④現行のCRユニットとECCO遊技機との接続使用についてはセキュリティ上の問題と許認可の関係から難しい ⑤通信回線は光回線となる ⑥ECCO遊技機の特許は日工組が管理する ⑦現行の機歴管理センターが遊技機管理センターになること

遊技機のスタンダード枠が10万円未満、英知ユニット15万円未満 ⑨通信費やシステム使用料については現行の使用料に抑えるよう努力する——となっている。

ECCO遊技機構想は、日工組が一昨年5月にホール関係5団体に説明してから一年半以上経過した。日遊協としては、若干あいまいな点もあるがこれまでの回答で一応大筋のものが出たとして、このまま質疑応答を際限なく続けるより、ホール・メーカーの調和点を考

2月の行事予定		FEBRUARY
5日(水)	12:30~15:30	新経営者会議打ち合わせ(岸野グループ)
6日(木)	10:30~11:30	環境実務者会議(全日遊連)
	15:30~17:30	流通勉強会
7日(金)	13:30~15:00	リサイクル推進委員会(日工組)
10日(月)	14:00~	推進機構社員団体実務者連絡会(情報オアシス神田)
12日(水)	13:30~15:00	貯玉補償基金理事会
13日(木)	15:30~17:30	広報調査委員会
	16:00~	東北支部実務セミナー、新春の集い(パレス平安)
14日(金)	12:00~13:00	人材育成委員会
	13:30~18:00	人材育成フォーラム
17日(月)	13:30~15:30	ゴト対策4団体会議(全日遊連)
	16:00~	中古機流通協議会(全日遊連)
18日(火)	15:00~17:00	遊技機委員会
19日(水)	15:00~16:00	インターネット広告協議会
	16:00~17:00	東京都・関東支部役員会議
20日(木)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(大阪ガーデンパレス)
	13:30~14:30	不正対策室会議
21日(金)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(大阪ガーデンパレス)
25日(火)	15:00~17:00	セキュリティ対策委員会
26日(水)	10:00~17:00	店長・管理職能力開発講習(名古屋・栄メンバーズオフィスビル)
	14:00~17:30	遊技産業新経営者会議(ハイアットリージェンシー東京)
27日(木)	14:30~	登録資格審査委員会



## 負のスパイラル 打破するために 賀詞交歓会の21世紀宣言

経過が報告された。大筋で固まりつつある「点検補助員に関する規程(案)」によると、点検補助員の登録は営業所の従業員2名以内とすること、点検補助員として登録できる資格者は全日遊連と日遊協共催で実施する講習を受講した者及び遊技機取扱主任者の資格を持つ者で、有効期間はおおむね3年間とすること、点検補助員の登録は全日遊連で行うこと等となっている。

また点検補助員の運用で不正行為が認知された場合、当該営業所に対する勧告又は補助員の1年以内の登録停止の措置をとるとしている。

これに関連して、中古機流通健全化要綱等、既存の要綱・要領類の部分改正案(第3次案)も説明された。

遊技産業活性化プロジェクトの進捗状況が報告された。ファン拡大の取り組みとして、全日遊連、日遊協、日工組が現行遊技機検討会で遊びやすい遊技機の開発を検討しているが、これを発展させて業界団体が一丸となってファンのすそ野を広げる活動を推進する戦略が提示された。

当面、1月28日のパチンコ・パチスロ産業21世紀賀詞交歓会で、14団体が「負のスパイラルを打破して、ファンの裾野を広げる」21世紀宣言を行うことをめざし、日遊協が中心になって各団体から合意を取りつつあることが報告された。

新規入会申請のあった賛助会員1社の入会を承認した。これで1月9日現在、正会員339社(ホール1110、機械69、販売113、景品10、その他37)、賛助会員74社、計413社と団体加盟1(同友会)となった。(21ページに新規入会会員)

平成26年度 遊技機取扱主任者講習・試験日程表

地区	開催地	新規	更新	会場
北海道	札幌		7月15日(火)	札幌ガーデンパレス
		9月4日(木)	9月5日(金)	
東北	仙台		4月17日(木)	メルパルク仙台
		5月8日(木)	5月9日(金)	
関東・東京	東京		4月4日(金)	オーラム
		4月10日(木)	4月11日(金)	ベルサール神田
		7月22日(火)	7月23日(水)	都市センターホテル
		10月9日(木)	10月10日(金)	ベルサール神田
			12月4日(木)	オーラム
		H27 1月22日(木)	H27 1月23日(金)	都市センターホテル
中部	名古屋	7月31日(木)	8月1日(金)	名古屋ガーデンパレス
		9月25日(木)	9月26日(金)	
近畿	大阪		5月14日(水)	大阪ガーデンパレス
		6月5日(木)	6月6日(金)	
		10月15日(水)	10月16日(木)	
中国	広島	5月20日(火)	5月21日(水)	メルパルク広島
四国	高松		8月27日(水)	マリンパレスさめき
			6月19日(木)	博多サンヒルズホテル
九州	福岡	7月3日(木)	7月4日(金)	ホテルニューオータニ博多
		H27 2月25日(水)	H27 2月26日(木)	博多サンヒルズホテル
開催回数		13	23	

※講習・試験の開催回数、期日及び会場は変更することがあります

認められた。札幌、仙台、東京、名古屋、広島、福岡の全国8地区で計36回開催される。内訳は新規13回(前年度は12回)、更新23回(同24回)。新規が1回増え、更新が1回減った。

支部運営会議  
ECO遊技機で説明  
7支部から活動報告

支部運営会議が1月9日、第5回定例理事会に先だつてグラウンドアーク半蔵門で開かれた。

松谷明良(北海道)、谷口久徳(東北)、西村拓郎(東京都・関東)、山口悟(中部)、福井章(近畿)、後藤信行(中国・四国)、樋口益次郎(九州)の7支部長と事務所長等、本部か

ら庄司孝輝会長、篠原弘志専務理事、伊東慎吾常務理事が出席した。各支部の活動状況が報告された。本部からは、ECO遊技機についてのホール関係団体の対応についての説明があった。

## 取扱主任者講習・試験日程 全国8地区で36回

平成26年度(2014年度)の遊技機取扱主任者講習・試験日程が、1月9日の第5回定例理事会で承